

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス エール谷山中央		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ブレイルームや和室、学習室など、児童が活動しやすいスペースの確保をしながら、広い空間で心地よく過ごすことができる。	活動内容や児童の様子に合わせて、室内での過ごし方を考え、適切な広さを確保しながら過ごすことができるようにしている。また、安全面に配慮して空間を分けたり、活動内容に合わせて活動場所を考えたりしている。	活動内容や児童の実態に合わせて、室内での過ごし方や分け方など環境設定を考え、より過ごしやすいように工夫している。
2	定期的に児童や保護者の方に向けて、情報を発信している。	アプリを活用し、写真を取り入れた日々の記録や学休日の活動記録等の発信を行っている。	写真や文章を見て、その日何をしてどのような1日だったかが分かるようなしっかりとした記録や発信を行っていく。
3	他の放デイと連携を図ることができている。	併用している児童の情報共有だけでなく、他の放デイと合同で実施する活動を行っている。	今後さらに、他の放デイとの連携を密にとり、情報共有だけでなく、児童同士の関わりが増やせるように活動を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の建物の関係上、バリアフリー化が難しい。	事業所が2階にあり、階段をのぼって室内に入る為、バリアフリー化が難しい。	身体面で配慮が必要な児童には、安全面に配慮した職員配置や対応の仕方を考えて支援をしていく。
2	保護者やご家族が参加できる活動や研修の実施ができていない。	事業所開所時がコロナ禍だったため、交流をもつ場を設けることができていなかった。	保護者やご家族が参加できる活動や、保護者同士が交流することができるような機会を設けられるように、実施の仕方を検討していく。
3	児童クラブや、地域の子どもと活動する機会がない。	地域の行事等に参加することができていなかった。	地域の子どもとも交流がもてるように情報収集や連絡を取り合ったり、ふれあい館等で交流ができそうな活動を取り入れたりしていく。